

Lite-Puter

CX-12II

取扱説明書

Ver1.00



株式会社 サウンドハウス
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222
<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は LITE-PUTER CX-12II をご購入頂き、誠にありがとうございます。
製品の性能を最大限に発揮させ、末永くお使い頂く為に、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読み下さい。また、本書が保証書となりますので大切に保管して下さい。

基本仕様

- DMX512 対応コントローラー
- 96 チャンネル/512 パッチ出力
- 4 セットのパッチ編集機能
- 96 のプリセット・シーン
- 24 のプリセット・チェース
- 64 ステップを各チェースに登録可能
- 独立した 2 つの A/B クロスフェーダー
- オーディオ・コントロール可能
- データを外部メモリーに保存可能(オプション)

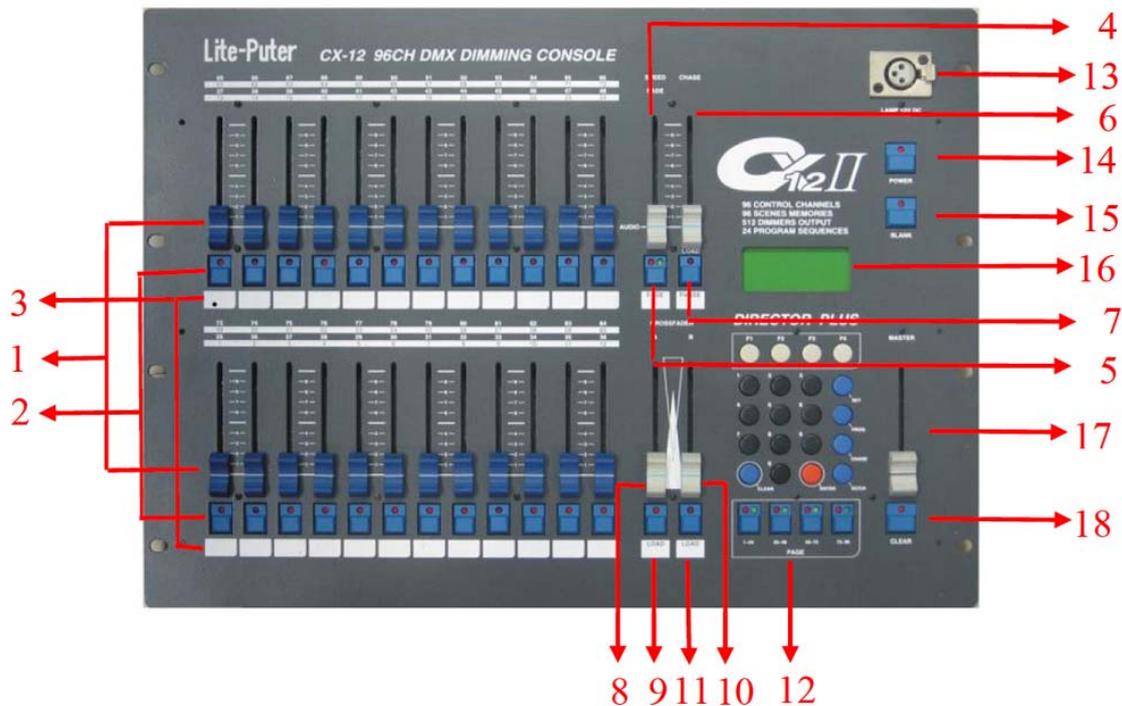
安全上の注意

- 本体に異常がある場合は製品の使用をお止め頂き、販売店にご相談下さい。
- 本体への接続が全て完了してから本体の電源を入れて下さい。接続の前に電源、電圧が正しい事を確認して下さい。定格電圧 AC100V、50/60Hz でご使用下さい。
- 電源ケーブルのアースピンを抜き取ったり、折ったりすることはお止め下さい。
- 電源ケーブルは踏まれたり、物に挟まれたりしないようご注意下さい。また、必ず本体を安全で安定した環境に設置して下さい。
- 感電防止の為、使用中は部品に触れないで下さい。本体カバーを外した状態で使用しないで下さい。
- 本製品は屋内専用です。屋外で使用した場合は保証対象外となります。
- 本体は通気性の良い場所に設置し、布等を被せないよう、また周囲に可燃物や爆発物、高温の物を置かないようご注意下さい。使用中は本体が熱を持ちますので、近くには何も置かないで下さい。
- 感電、火災の危険性を最小限におさえる為に、本体に液体がかからないよう、また雨天や高湿度の状況下でご使用にならないようご注意下さい。

※本製品に異常を感じた時は速やかに使用を中止し、販売店もしくは正規代理店にご連絡下さい。
メンテナンス以外の目的において無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となる場合があります。

各部の名称と機能

コントロールパネル

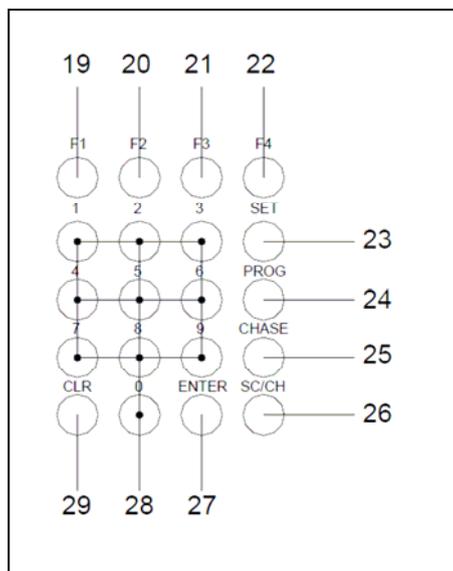


- 1) フェーダー#1～24
- 2) フラッシュボタン#P1～P24
 - LED が各チャンネルのステータスを表示(チャンネルモード時)
 - シーンを選択(SCENE モード時)
 - フラッシュボタン
 - チェースの読み込み
- 3) ラベルスペース……チャンネル設定のメモ等に使用します
- 4) SPEED フェーダー……チェース、クロスフェードのスピードを調整します。
- 5) FADE 保存ボタン……クロスフェードモード時に使用します。
- 6) CHASER フェーダー……チェースの明るさを調整します。
- 7) LOAD/PAUSE ボタン……チェースモード時に使用します。
- 8) クロスフェード”A”フェーダー……チェース A を手動で実行します
- 9) LOAD ボタン……チェース A モード時に使用します。
- 10) クロスフェード”B”フェーダー……チェース B を手動で実行します。
- 11) LOAD ボタン……チェース B モード時に使用します。
- 12) ページボタン……PAGE1～PAGE4
- 13) ミキサーライト端子……DC+12V 250mA、3ピン XLR タイプ
- 14) 電源スイッチ

- 15) BLANK スイッチ
- 16) LCD ディスプレイ
- 17) MASTER フェーダー
- 18) CLEAR ボタン

19- 22) ファンクションボタン F1~F4

- 23) SET ボタン
- 24) プログラムボタン
- 25) CHASE ボタン
- 26) シーン/チャンネルボタン
- 27) ENTER ボタン
- 28) ナンバーボタン 1-9
- 29) CLEAR ボタン



リアパネル



- 1) メイン電源スイッチ
- 2) AC 入力端子 (AC100V 50/60Hz)、電源ヒューズ (2A)
- 3) ミキサーライト電源スイッチ
- 4) DMX512 入出力端子
- 5) 拡張メモリー入力端子
- 6) オーディオ入力端子 (100mV)

電源スイッチ

電源を入れる

- 1) 電源ケーブルをコンセントにしっかりと差込み、リアパネルの電源スイッチを入れます。
- 2) フロントパネルの電源スイッチをオンにし、LCD ディスプレイの状態を確認します。
- 3) BLANK スwitchの LED が OFF になっているか確認してください。

電源を切る

- 1) フロントパネルの電源スイッチをオフにします。リアパネルの電源がオンの状態の場合、バッテリーの再充電モードに入ります。
- 2) リアパネルの電源スイッチをオフにするとバッテリーの充電は行われません。保存したデータはおよそ 7 日間保存されます。

<注意>

使用前に最低 24 時間はリアパネルのスイッチを ON にし、内蔵バッテリーの充電を行ってください。初回の使用時、7 日以上充電されないと保存されたデータが失われる可能性があります。

チャンネルの設定

明るさの調整

STEP-1:

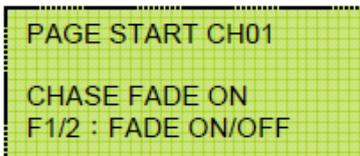
MASTER フェーダーを一番上まで上げます。MASTER フェーダーはすべてのチャンネルの明るさを調節します。

STEP-2:

シーン/チャンネルボタンを押し、モードを選択します。ページボタンの LED が赤く点灯している際は SCENE モードであることを表し、緑色に点灯している際は CHANNEL モードであることを表します。ここでは CHANNEL モードを選択します。

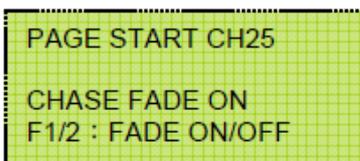
STEP-3

PAGE1 を押し、チャンネル 1～24 の明るさをフェーダー#1-24 で調節します。



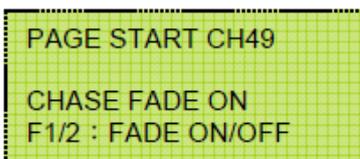
STEP-4

PAGE2 を押し、フェーダー#1-24 を一度 0 まで下げてから、チャンネル 25～48 の明るさを調節します。



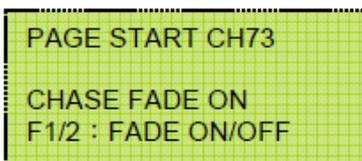
STEP-5

PAGE3 を押し、フェーダー#1-24 を一度 0 まで下げてから、チャンネル 49～72 の明るさを調節します。



STEP-6

PAGE4 を押し、フェーダー#1-24 を一度 0 まで下げてから、チャンネル 73～96 の明るさを調節します。

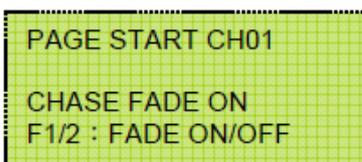


※各ページを切り替えた時は、必ずフェーダーを一度 0 まで下げてから新しい明るさに調節してください。

明るさの修正

STEP-1

PAGE1 を押します。(チャンネル 1-24)



STEP-2

フェーダー#1 を一度 CH01=00 に調節し、それから CH01=FL となるまで上げます。さらに CH01=50 となるように調節すると、設定を変更します。

設定の消去

フェーダー#1-24 と MASTER フェーダーを一度 0 まで下げます。MASTER フェーダーの下に位置する CLEAR ボタンを押すと、設定した内容を消去します。

シーンの設定

シーンの設定

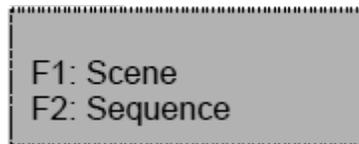
STEP-1

「チャンネルの設定」の項目に従って、各チャンネルの明るさ調整を行ってください。

STEP-2

プログラムボタンを押します。

STEP-3



F1: Scene
F2: Sequence

F1 ボタンを押し、Scene モードを選択します。

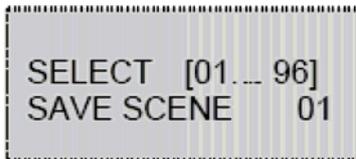
STEP-4



F1: Load F3: Clear
F2: Save

F2 ボタンを押して Save を選択します。

STEP-5



SELECT [01... 96]
SAVE SCENE 01

0-9 のナンバーボタンで保存するシーンナンバーを選び、ENTER ボタンを押して設定を確定します。

STEP-6



ARE YOU SURE ?F1
SAVE SCENE 01

F1 ボタンを押して設定を保存します。

シーン 02～96 に関しても同様に設定します。

※各ページに 24 のシーンを設定可能、4 ページで合計 96 のシーンを保存することができます。

シーンの読み込み

1. プログラムボタンを使ってシーンを読み込む

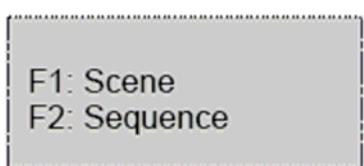
STEP-1

全てのチャンネルの明るさを 0%にします。

STEP-2

MASTER フェーダーで、明るさの調整をします。

STEP-3



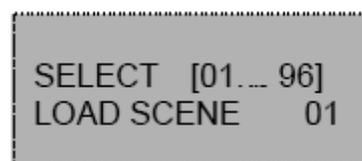
プログラムボタンを押してから、F1 を押し Scene モードを選択します。

STEP-4



再度 F1 を押し Load を選択し、シーンを読み込みます。

STEP-5



0-9 のナンバーボタンで読み込むシーンナンバーを選択します。

STEP-6

ENTER ボタンでシーンの読み込みを確定します。

2. フラッシュボタン P1-P24 を使ったのシーン読み込み

STEP-1

全てのチャンネルの明るさを 0%にします。

STEP-2

MASTER フェーダーで明るさの調整をします。

STEP-3

PAGE ボタンを押します。

STEP-4

SC/CH ボタンを押し、シーンモードを選択します。

STEP-5

再生したいシーンナンバーに対応するフラッシュボタンを押してシーンを読み込みます。フラッシュボタンを押している間のみシーンが再生されます。

3. フェーダー#1-24 を使ってシーンを読み込む

STEP-1

全てのチャンネルの明るさを 0%にします。

STEP-2

MASTER フェーダーで調整をします。

STEP-3

PAGE ボタンを押します。

STEP-4

SC/CH ボタンを押し、シーンモードを選択します。PAGE ボタンの LED が赤く点灯します。

STEP-5

再生したいシーンナンバーに対応するフェーダーを調整して、シーンを再生します。

※プログラムボタン、フラッシュボタンを使って読み込みを行う場合、シーンのスピードを読み込むことが出来ます。フェーダーを使って読み込む際はディマー機能をフェーダーで調整します。

シーケンス・チェースの設定

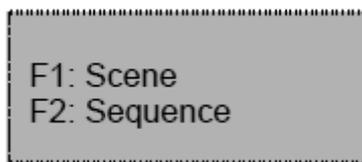
シーケンスとは、連続したプログラム動作として 2 つ以上のシーン動作を意味し、チェースまたは A/B クロスフェーダーの両方を操作することができます。メモリー内に 24 のシーケンスを保存可能、各シーケンスには 64 のステップを設定することができます。

シーケンスの編集

STEP-1

プログラムボタンを押します。

STEP-2



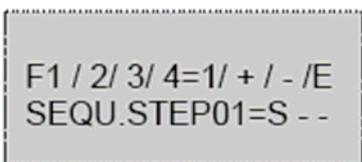
F2 を押し、Sequence モードを選択します。

STEP-3



F3 を押して Edit を選択し、シーケンスの編集を行います。

STEP-4

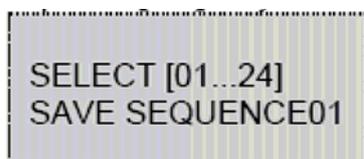


F1 を押すと STEP-1 に戻ります。
F2 を押すとステップが1進みます。
F3 を押すとステップが1戻ります。
F4 を押すと設定を保存します。

0-9 のナンバーボタンでステップとして登録したいシーンを選択し、ENTER ボタンを押して選択を確定します。

STEP-5

STEP-4 の方法に従ってシーンの設定を続けます。設定が終わったら F4 ボタンを押して編集を完了し、ENTER ボタンで保存します。



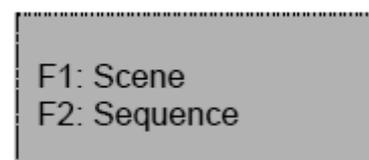
SELECT [01..24]
SAVE SEQUENCE01

シーケンスの修正

STEP-1

プログラムボタンを押します。

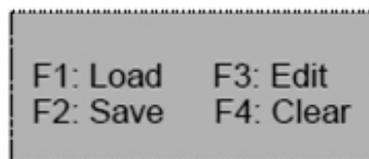
STEP-2



F1: Scene
F2: Sequence

F2 を押し、Sequence モードを選択します。

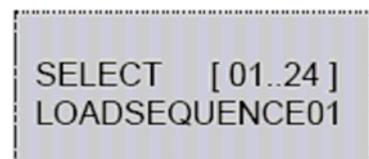
STEP-3



F1: Load F3: Edit
F2: Save F4: Clear

F1 ボタンを押し、Load を選択します。

STEP-4



SELECT [01..24]
LOADSEQUENCE01

0-9 のナンバーボタンでシーケンスを選択し、ENTER ボタンで確定します。

STEP-5



F3 を押して Edit を選択し、シーケンスの設定をします。

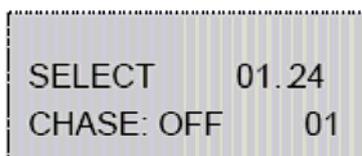
チェースの読み込み

※チェースナンバー=シーケンスナンバー

STEP-1

CHASE ボタンを押します。

STEP-2



ナンバーボタン 0-9 でチェースを選択し、ENTER ボタンで確定します。

STEP-3

CHASER フェーダーを最上部まで上げます。

STEP-04

SPEED フェーダーでチェースのスピードを調整します。オーディオ・コントロールで使用するには、フェーダーを 0% に設定します。

P1-P24 ボタンを使ったチェースの読み込み

STEP-1

チェースを読み込むには、CHASER フェーダーの下にある LOAD/PAUSE ボタンと、再生したいチェースの登録されたフラッシュボタンを押します。

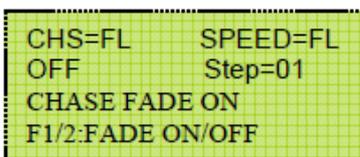
LOAD/PAUSE ボタンを押すと、チェースが一時停止します。再開するにはもう一度 LOAD/PAUSE ボタンを押します。

全部で 24 セットのチェースを設定することが出来ます。

チェースのフェード ON/OFF 設定

STEP-1

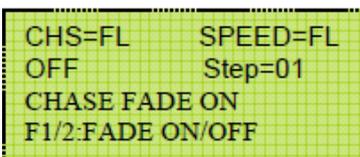
CHASER フェーダーか SPEED フェーダーを調整します。



CHS=FL SPEED=FL
OFF Step=01
CHASE FADE ON
F1/2:FADE ON/OFF

STEP-2

F1 キーを押すと、チェースフェードオンモードになります。



CHS=FL SPEED=FL
OFF Step=01
CHASE FADE ON
F1/2:FADE ON/OFF

F2 キーを押すと、チェースフェードオフモードになります。



CHS=FL SPEED=FL
OFF Step=01
CHASE FADE OFF
F1/2:FADE ON/OFF

チェースの再生を停止する

- CHASE ボタンを 2 度押してください。
- CHASER フェーダーを 0%の位置に動かします。

A/B クロスフェーダーによるシーンの切り替え

A/B クロスフェーダーについて

- 2つの異なるシーンをコントロールします。
- シーケンスモード時、チェースをマニュアルで操作するのに使用します。

A/B クロスフェーダーにシーケンスを設定する

例:現在のシーケンスをクロスフェーダー”A”に設定する場合

STEP1

クロスフェーダーAの下にあるLOADボタンとP1を同時に押し、現在のシーケンスをクロスフェーダーAに割り当てます。

A/B クロスフェーダーのデータを設定する

A/B クロスフェーダーのフェードイン/フェードアウトの時間はSPEEDフェーダーで調節します。

STEP-1

SPEED/FADEフェーダーを調整後、FADEボタンを押してスピードの設定を確定します。

STEP-2

Aクロスフェーダーを一番上に設定し、LOADボタンを押します。

A/B クロスフェーダーを一時停止する

Aクロスフェーダーを0%に調整し、LOADボタンを押して一時停止します。

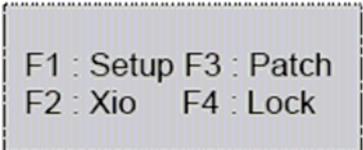
LCD ディスプレイ／デフォルト設定

1.LCD バックライトの電源

STEP-1

SET ボタンを押します。

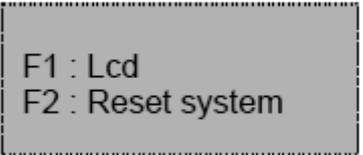
STEP-2



F1 : Setup F3 : Patch
F2 : Xio F4 : Lock

F1 を押して Setupを選択します。

STEP-3



F1 : Lcd
F2 : Reset system

更に F1 を押し、Lcd を選択します。

STEP-4



F1 : Backlight
F2 : Concen

もう一度 F1 を押し Backlight を選択すると、LCD ディスプレイのバックライトが点灯します。もう一度 F1 を押すと LCD ディスプレイのバックライトが消灯します。

2.LCD のコントラスト調整

上記設定の STEP4 で F2 を押し Concen を選択すると、LCD ディスプレイのコントラストを調整します。



F1 : Backlight
F2 : Concen

3.データの削除

STEP-1

SET ボタンを押します。

STEP-2

```
F1 : Setup F3 : Patch
F2 : Xio   F4 : Lock
```

F1 を押し、Setup を選択します。

STEP-3

```
F1 : Lcd
F2 : Reset system
```

F2 を押し、Reset system を選択します。

STEP-4

```
Reset All Data!
Are You Sure? F1
```

F1 を押すと全てのデータが削除されます。ブランク機能が有効になります。設定を続ける時は BLANK ボタンを押して下さい。

```
* DESK BLACK OUT *
CX-12
V2.08 (C) 1997- 98
BY LITE PUTER
```

ディスプレイが点滅します。

外部メモリーカード

STEP-1

SET ボタンを押します。

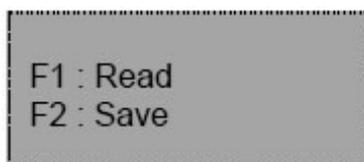
STEP-2



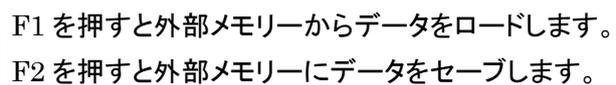
F1 : Setup F3 : Patch
F2 : Xio F4 : Lock

F2 を押し、Xio を選択します。

STEP-3



F1 : Read
F2 : Save



F1 を押すと外部メモリーからデータをロードします。
F2 を押すと外部メモリーにデータをセーブします。

チャンネルのパッチ設定/ ウォームアップ設定

1.チャンネルのパッチ設定

例： デイマーの 097 チャンネルを CX-12III のチャンネル 1 に割り当てる場合

STEP-1

SET ボタンを押します。

STEP-2



F1 : Setup F3 : Patch
F2 : Xio F4 : Lock

F3 ボタンを押し、Patch を選択します。

STEP-3



F3:DMXin
F2:DMXo F4:Wrmup

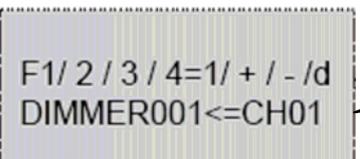
F2 ボタンを押し、DMXo を選択します。

STEP-4



F1 : Load F3 : Edit
F2 : Save F4 : Clear

F3 ボタンを押し、Edit を選択します。



F1/2/3/4=1/+/-/d
DIMMER001<=CH01

F1 を押すとデイマー001 を選択します。
F2 を押すと、数字が 1 足されます。
F3 を押すと、数字が 1 引かれます。
F4 を押すと、デイマーのアドレスを選択します

STEP-5

F4 ボタンを押してデイマーのスタートアドレスを設定します。ナンバーボタンまたは F1-F4 ボタンで

スタートアドレスを選択します。ナンバーボタンでアドレスを設定した場合は、ENTER ボタンで確定します。

```
1:97 2:193 3:289  
DIMMER001<=
```

F1 を押すとディマーのアドレスを 097 に設定します。
F2 を押すとディマーのアドレスを 193 に設定します。
F3 を押すとディマーのアドレスを 289 に設定します。

STEP-6

```
F1/2/3/4=1/+/-/d  
DIMMER097<=CH01
```

ナンバーキーを押してチャンネルナンバーを設定します。ENTER ボタンで設定した内容を確定します。

STEP-7

SET ボタンを押します。

STEP-8

```
F1 : Load  F3 : Edit  
F2 : Save  F4 : Clear
```

F2 を押して Save を選択すると、設定を保存します。(F1-F4 まで 4 通りの設定が可能です)

F1 を押して Load を選択すると、F1-F4 からパッチデータを読み取ります。

F4 を押して Clear を選択すると、データを消去してデフォルトの設定になります。

2.ウォームアップの設定(0-9%)

STEP-1

SET ボタンを押します。

STEP-2

F1 : Setup F3 : Patch
F2 : Xio F4 : Lock

F3 を押して、Patch を選択します。

STEP-3

F3:DMXin
F2:DMXo F4:Wrmup

F4 を押して、Wrmup を選択します。

F1 : ALLCh
F2 : LoadSc F4 :Clr

F1 を押すと全チャンネルのウォーミングアップをします。
F2 を押すとシーンの読み込みを始めます。
F4 を押すと前回作ったステップの設定を削除します。

ロック機能

1.パスワードの設定

STEP-1

SET ボタンを押します。

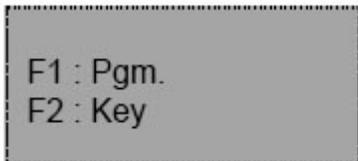
STEP-2



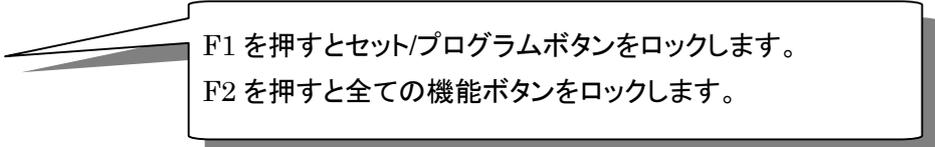
F1 : Setup F3 : Patch
F2 : Xio F4 : Lock

F4 を押し、Lock を選択します。

STEP-3



F1 : Pgm.
F2 : Key

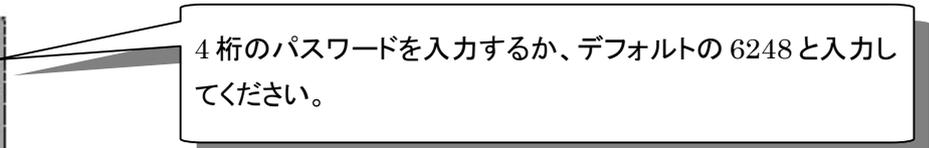


F1 を押すとセット/プログラムボタンをロックします。
F2 を押すと全ての機能ボタンをロックします。

プログラムボタンをロックするには F1 を押します。



LOCK PROGRAM:
PASSWORD : 0000



4桁のパスワードを入力するか、デフォルトの6248と入力してください。

STEP-4

ENTER ボタンを押して設定内容を確定します。

2.ロックの解除

SET ボタンを押して4桁のパスワードを入力し、ENTER ボタンを押すとロックが解除されます。

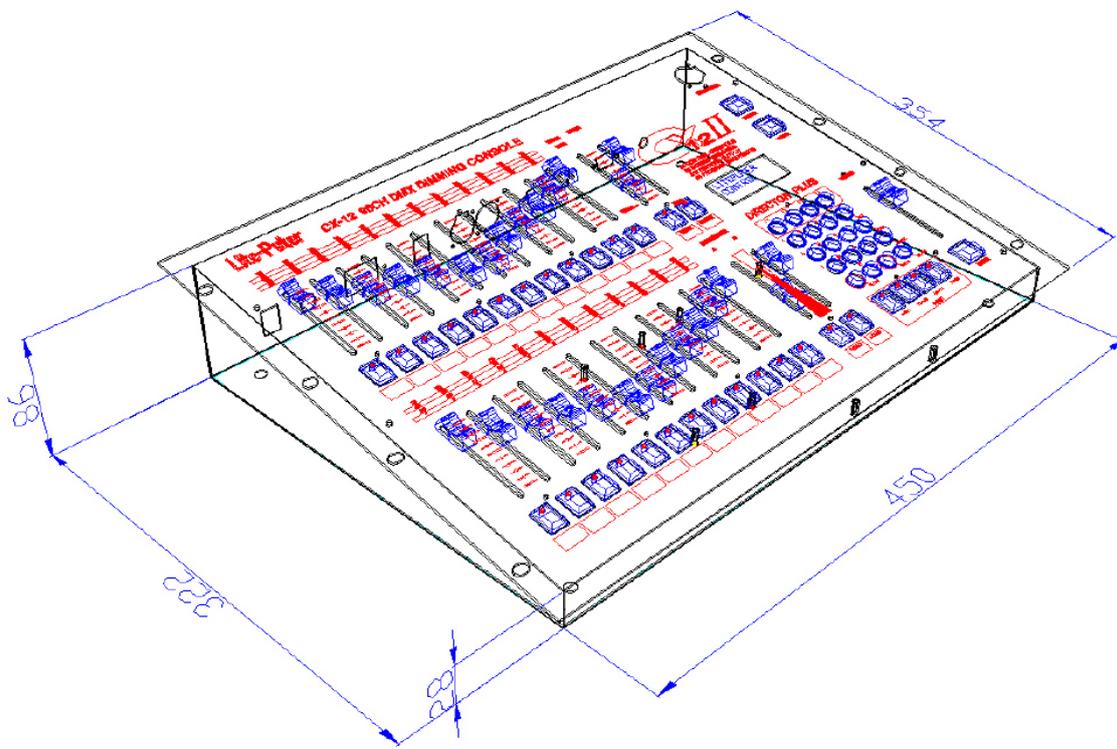
スペック

使用電源	AC100V、50/60Hz
デジタル信号入出力	DMX-512
DMX 出力チャンネル数	96 チャンネル (97-512ch パッチ設定可能)
DMX 入出力端子	5ピン XLR 端子(オス、メス)
オーディオ入力	内蔵マイク(最大 120dB)/外部(100mV)
ミキサーライト端子	3ピン XLR 端子、DC+12V 250mA
メモリーカード	64 K
サイズ	8U 標準ラックサイズ、48.2(W)×35.5(H)×12.5(D)cm
重量	5kg

<注意>

- 1.使用前に最低 24 時間はリアパネルのスイッチを ON にしバッテリーを充電してください。
- 2.初回の使用時、7 日以上充電されないと保存されたデータが失われる可能性があります。

寸法図



Lite-Puter

保証書

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より1年間有効

■保証規定

保証期間内（ご購入より1年間）において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書に基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。

但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取り扱い方法が不適當（例：過大入力によるウーハー焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. 製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことにより故障及び損傷がおきたとみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト各種パーツ等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. お客様自身で行った調整や修理作業が原因で生じた破損事故や故障
11. その他、メーカーの判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、佐川急便に限り着払いを受け付けます（下記RA番号が必要です）。沖縄などの離島の場合は、着払いでの受付は行っておりません。送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

初期不良または保証内の修理における着払いでの運送については、サポート担当より通知されるRA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状シールに明記してください。RA番号が無いものについては、佐川急便以外の運送会社での着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる損害（周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損害）に関してサウンドハウスは一切の責任を負いません。